

# 平成30年度オープンスクール(学校公開)実施状況調査の結果について

## 1 調査項目

- I オープンスクールの実施状況
- II オープンスクールの参加者の状況
- III 円滑なオープンスクールの実施に向けての各学校の工夫
- IV オープンスクールの実施の成果
- V 円滑なオープンスクール実施のための課題や改善点

## 2 調査対象学校数 (神戸市を除く)

	小学校	中学校	特別支援学校	計
学校数	586	259	40	885

学校には姫路市立白鷺小中学校、中学校には県立大学附属中学校、県立芦屋国際中等教育学校を含む)

## 3 参考

- 「兵庫の教育推進月間」期間中の実施状況
- 5年間(平成26～30年度)の年次推移)

# I オープンスクールの実施状況

## 【実施校数】

	全学校数	実施校数	実施率
小学校	586	586	100.0%
中学校	259	259	100.0%
特別支援学校	40	40	100.0%
計	885	885	100.0%

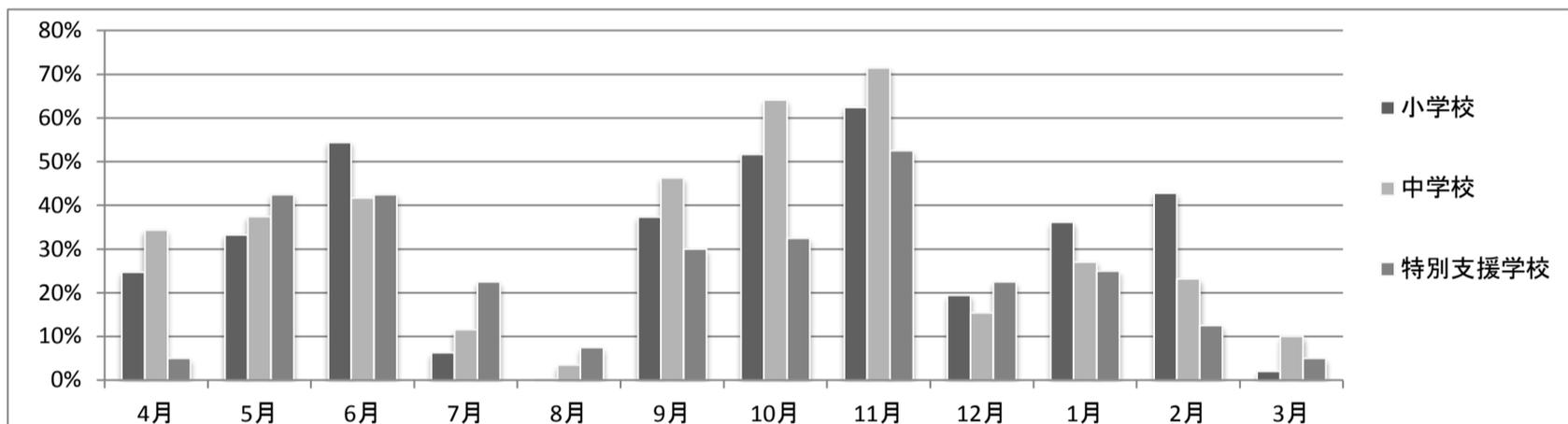
(注) 実施率は、(実施校数÷全学校数)である。

## 【実施月】

(校) (複数回答)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	145 (24.7%)	195 (33.3%)	319 (54.4%)	37 (6.3%)	2 (0.3%)	219 (37.4%)	303 (51.7%)	366 (62.5%)	114 (19.5%)	212 (36.2%)	251 (42.8%)	12 (2.0%)
中学校	89 (34.4%)	97 (37.5%)	108 (41.7%)	30 (11.6%)	9 (3.5%)	120 (46.3%)	166 (64.1%)	185 (71.4%)	40 (15.4%)	70 (27.0%)	60 (23.2%)	26 (10.0%)
特別支援学校	2 (5.0%)	17 (42.5%)	17 (42.5%)	9 (22.5%)	3 (7.5%)	12 (30.0%)	13 (32.5%)	21 (52.5%)	9 (22.5%)	10 (25.0%)	5 (12.5%)	2 (5.0%)
計	236 (26.7%)	309 (34.9%)	444 (50.2%)	76 (8.6%)	14 (1.6%)	351 (39.7%)	482 (54.5%)	572 (64.6%)	163 (18.4%)	292 (33.0%)	316 (35.7%)	40 (4.5%)

(注) ( )内は、(実施校数÷学校数)である。

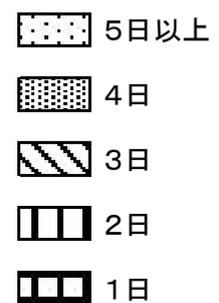
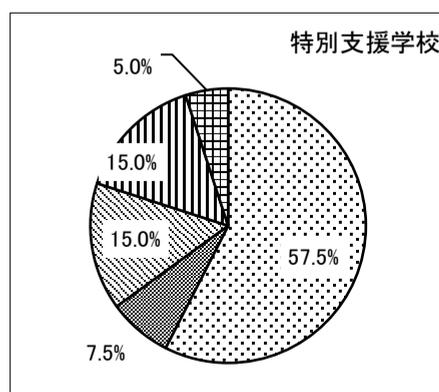
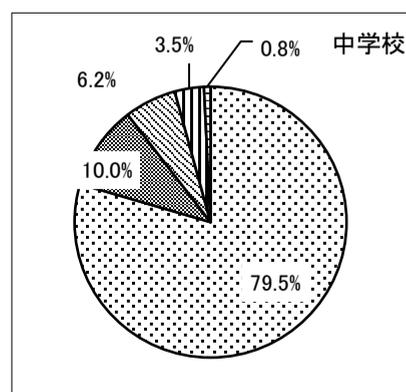
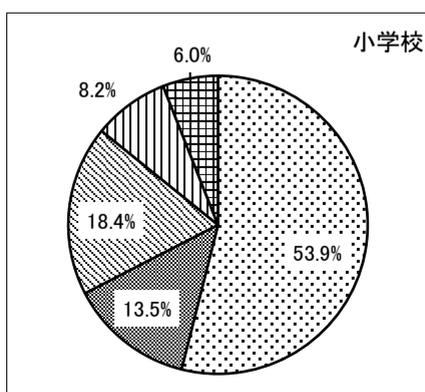


## 【実施日数】

(校)

	5日以上	4日	3日	2日	1日	合計日数	平均日数
小学校	316 (53.9%)	79 (13.5%)	108 (18.4%)	48 (8.2%)	35 (6.0%)	2,961	5.1
中学校	206 (79.5%)	26 (10.0%)	16 (6.2%)	9 (3.5%)	2 (0.8%)	2,023	7.8
特別支援学校	23 (57.5%)	3 (7.5%)	6 (15.0%)	6 (15.0%)	2 (5.0%)	248	6.2
計	545 (61.6%)	108 (12.2%)	130 (14.7%)	63 (7.1%)	39 (4.4%)	5,232	5.9

(注) ( )内の実施校数に対する割合については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、実施校数等と一致しない場合がある。  
合計日数は、全学校のオープンスクール実施日数を合計したものである。  
平均日数は、(合計日数÷実施校数)である。



【実施内容】(実施日数の内、普段の授業・生活を公開した日数)

小学校

(校)

実施日数 公開日数	1日	2日	3日	4日	5日以上	計
0日	2 (5.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)
1日	33 (94.3%)	7 (14.6%)	16 (14.8%)	9 (11.4%)	12 (3.8%)	77 (13.1%)
2日		41 (85.4%)	27 (25.0%)	22 (27.8%)	25 (7.9%)	115 (19.6%)
3日			64 (59.3%)	19 (24.1%)	85 (26.9%)	168 (28.7%)
4日				29 (36.7%)	101 (32.0%)	130 (22.2%)
5日以上					93 (29.4%)	93 (15.9%)
計	35	48	108	79	316	586

(注) ( )内の数字は、各実施日数の学校数に対する割合である。

中学校

(校)

実施日数 公開日数	1日	2日	3日	4日	5日以上	計
0日	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
1日	2 (100.0%)	1 (11.1%)	1 (6.3%)	1 (3.8%)	1 (0.5%)	6 (2.3%)
2日		8 (88.9%)	7 (43.8%)	12 (46.2%)	14 (6.8%)	41 (15.8%)
3日			8 (50.0%)	4 (15.4%)	38 (18.4%)	50 (19.3%)
4日				8 (30.8%)	40 (19.4%)	48 (18.5%)
5日以上					113 (54.9%)	113 (43.6%)
計	2	9	16	26	206	259

(注) ( )内の数字は、各実施日数の学校数に対する割合である。

特別支援学校

(校)

実施日数 公開日数	1	2	3	4	5	計
0	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.5%)
1	2 (100.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)
2		4 (67%)	0 (0%)	1 (33.3%)	1 (4.3%)	6 (15.0%)
3			6 (100%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	9 (22.5%)
4				2 (66.7%)	1 (4.3%)	3 (7.5%)
5					18 (78.3%)	18 (45.0%)
計	2	6	6	3	23	40

(注) ( )内の数字は、各実施日数の学校数に対する割合である。

## Ⅱ オープンスクールの参加者の状況

【期間中ののべ保護者数及びのべ地域住民数】

(人)

	のべ保護者数	のべ地域住民数	計
小学校	594,362	76,082	670,444
中学校	184,932	26,333	211,265
特別支援学校	9,352	6,889	16,241
計	788,646	109,304	897,950

## Ⅲ 円滑なオープンスクールの実施に向けての各学校の工夫

(校) (複数回答)

	小学校	中学校	特別支援学校	計	
保護者や地域の人たちに受付や校内の巡回等の協力を得た	442 (75.4%)	168 (64.9%)	11 (27.5%)	621 (70.2%)	
緊急事態に対応するため、あらかじめ関係機関と連携を図った	300 (51.2%)	131 (50.6%)	11 (27.5%)	442 (49.9%)	
実施期間や実施日時(休日実施など)を工夫した	564 (96.2%)	250 (96.5%)	33 (82.5%)	847 (95.7%)	
アンケートや話し合いなど来校者からの意見を伺う工夫をした	554 (94.5%)	248 (95.8%)	36 (90.0%)	838 (94.7%)	
実施内容の工夫	児童生徒が主に活動している授業を参観してもらうなど、授業内容を工夫した	574 (98.0%)	244 (94.2%)	35 (87.5%)	853 (96.4%)
	児童生徒が主に活動している学校行事に合わせて実施した	483 (82.4%)	233 (90.0%)	20 (50.0%)	736 (83.2%)
	保護者または地域の人に参加する行事にあわせて実施した	528 (90.1%)	222 (85.7%)	22 (55.0%)	772 (87.2%)

(注) ( )内の数字は、実施校数に対する割合である。

[その他、学校の取組の様子を知らせるのに効果があった取組や学校の特色を生かした取組の主な内容]

### ◆小学校

#### ○行事に関するもの

・学校祭 ・地域防災訓練 ・地域行事との同日開催 ・学習発表会 ・引き渡し訓練

#### ○説明会、講習会、講演会に関するもの

・心肺蘇生実技練習 ・ネットモラル講演会 ・教育講演会  
・携帯スマホ啓発学習 ・郷土料理給食会 ・給食試食会  
・ネット利用ルールづくり ・人権講演会

#### ○授業に関するもの

・親子で考える道徳の授業 ・道徳全クラス公開 ・食育の授業公開  
・防災学習 ・小中一貫教育の取組発表 ・地域の歴史を学ぶ会

#### ○運動会、発表会等に関するもの

・運動会(地域と共催) ・音読発表会 ・夏季作品展  
・餅つき大会(収穫祭) ・マラソン大会

#### ○体験活動に関するもの

・福祉体験学習 ・老人クラブの方の指導による昔遊び体験  
・田植え体験 ・地域伝統芸能・文化の継承活動 ・学校スキー

#### ○その他

・原則的に毎日学校を公開 ・公民館等での作品展示  
・土日祝日でのオープンスクール ・学校版教育環境会議  
・案内状の工夫 ・PTAの校内ツアー ・電子黒板を用いた学校紹介  
・学校評議委員会との同日開催 ・地域懇談会 ・地元新聞・テレビでの紹介  
・小中連携の取組紹介

◆中学校

○行事に関するもの

- ・防災避難訓練 ・小中合同オープンスクール ・幼保小中連携作品展 ・地域別生徒集会

○授業に関するもの

- ・人権学習 ・全学級道徳公開授業 ・親子道徳

○体験活動に関するもの

- ・地域清掃活動

○説明会、講習会、講演会に関するもの

- ・学校説明会（6年生保護者対象） ・「ようこそ先輩」講演会 ・教育講演会

○運動会、発表会等に関するもの

- ・幼・小・中合同文化発表会 ・練習期間の公開 ・スポーツ大会 ・幼小合同作品展

○その他

- ・生徒が自発的に地域行事に参加していることが好影響 ・休日開催 ・給食試食会 ・合唱コンクールのリハーサルを公開 ・学校版教育環境会議 ・新聞等での紹介

◆特別支援学校

○授業に関するもの

- ・作業学習の公開 ・販売実習 ・ふるさと学習

○説明会、講習会、講演会に関するもの

- ・東京ディズニーランドアンバサダーの訪問

○その他

- ・生徒が育てた野菜や、制作した陶芸・縫工作品の販売 ・給食場面を含めた1日公開 ・普段の様子が分かる掲示物の工夫

【広報の工夫】

○広報の方法

(校)

(複数回答)

	小学校	中学校	特別支援学校	計
学校便り、チラシ等の配布、回覧	585 (99.8%)	256 (98.8%)	38 (95.0%)	879 (99.3%)
地域の広報誌等への掲載	85 (14.5%)	52 (20.1%)	7 (17.5%)	144 (16.3%)
地域の集会等へ出向いての広報	105 (17.9%)	49 (18.9%)	5 (12.5%)	159 (18.0%)
横断幕、立て看板等の設置やポスターの配布、掲示	141 (24.1%)	74 (28.6%)	13 (32.5%)	228 (25.8%)
有線放送やCATV、FMラジオなどの地区放送	83 (14.2%)	30 (11.6%)	2 (5.0%)	115 (13.0%)
学校のホームページへの掲載	435 (74.2%)	208 (80.3%)	33 (82.5%)	676 (76.4%)
メール配信や手紙等	331 (56.5%)	134 (51.7%)	27 (67.5%)	492 (55.6%)
その他	9 (1.5%)	5 (1.9%)	3 (7.5%)	17 (1.9%)

(注) ( ) 内の数字は、実施校数に対する割合である。

【その他の主な内容】

○手段

- ・保護者だけでなく、各種団体、近隣公共機関等にメール配信にて情報発信
- ・新聞掲載や新聞折り込みを利用
- ・市の広報誌に掲載
- ・地域ホームページの活用
- ・公民館に案内を掲示し、チラシを置いた
- ・近隣幼稚園児も参加、見学され、連携が深まった。
- ・地域の防災無線でアナウンスを行った
- ・入学説明会での広報
- ・年間行事予定表への明記
- ・地域の各種会合での広報依頼

## IV オープンスクール実施の成果

	(校)			(複数回答)
	小学校	中学校	特別支援学校	計
授業や学校環境等を見てもらうことによって、保護者や地域の人たちの学校への関心や理解が深まった	583 (99.5%)	257 (99.2%)	40 (100.0%)	880 (99.4%)
学校の様々な取組に対して、保護者や地域の人たちの意見を伺う機会が増えたり、協力がより得られたりするようになった	571 (97.4%)	255 (98.5%)	36 (90.0%)	862 (97.4%)
保護者や地域の人たちからの評価により、教職員の意欲の向上につながった	567 (96.8%)	249 (96.1%)	37 (92.5%)	853 (96.4%)
多くの地域の人たちに見守られることで児童生徒の活動の励みになった	579 (98.8%)	256 (98.8%)	39 (97.5%)	874 (98.8%)

(注) ( ) 内の数字は、実施校数に対する割合である。

### [上記以外の成果の主な内容]

- ・ 保育所や幼稚園に案内し、新一年生となる幼児・保護者が小学校を見学する良い機会となった。
- ・ 入学説明会とオープンスクールを組み合わせ、小学6年生が中学校のイメージを持てた様子であった。
- ・ 日々の学校での取組を生徒が家庭で会話をすることによって保護者の参観が年々増えてきている。
- ・ 特にふるさと学習を推進する上で、地域のことを教えていただける保護者や住民の方の情報を共有することができた。
- ・ 通常の授業参観とは違って、自分の子に関係なくどの学年、学級でも参観できることに意義がある。
- ・ 中学校から先生が来校し、意見交流や情報交換をおこなったりすることで、小中連携が深まった。
- ・ 地域の方に学校への要望等について直接話を伺う機会となった。
- ・ 地域の人々の学校教育への理解が得られ、支援等の協力がお願いしやすくなった。
- ・ 生徒達の「自己有用感」の伸長に役立った。
- ・ 生徒がより地域の行事に参加するようになった。
- ・ 小、中、高の全学部を見てもらうことで、子どもの成長や学校の流れを理解していただく機会となった。
- ・ 視覚障害についての理解啓発に役立った。
- ・ 教師の授業改善が進んだ。
- ・ 休日の実施により多くの方の参加が得られた。
- ・ 学校評議員会と同時に開催することにより、学校評議員にも活動を参観していただき、理解を得ることが出来た。
- ・ 外国語活動の地域人材に来ていただき授業補助に入っていたいただき好評を得た。

## V 円滑なオープンスクール実施のための課題や改善点

- ・ 2019年度は特に休日が多く、日程調整が難航している。
- ・ 保護者の参加数に比べ、地域住民の参加数が少ない。更なる啓発、広報活動を進めていかなければいけない。
- ・ 保護者・地域を対象にした人権啓発や情報モラルの講演会の参加が少ないこと。
- ・ 不審者対策が必要であるが、来校者が多くなる体育会等では対策が難しい。
- ・ 特別な行事をたくさん実施しており、普段の授業公開が少ないので、改善を要する。
- ・ 準備に費やす時間が多く、学校側にもPTA保護者側にも、かなりの負担を強いている。
- ・ 地域の方と児童・保護者が一緒に受ける講座などを用意しているが、地域の方の来校がほとんどない。
- ・ オープンスクールと同日に出張が入った場合、欠席による支障がでることがある。
- ・ 新学習指導要領についての周知を図り、今後必要となる学校の変革に理解と協力を求めていくことが必要である。
- ・ 授業参観日に比べて、参観時間が長い場合、参観者が分散(減少)する傾向がある。
- ・ 授業や子どもの活動を写真や動画で撮影することをどこまで許可するかが課題である。
- ・ 小中一貫教育の成果をオープンスクールで啓発することが今後の課題である。
- ・ 階段に手すりをつけたり、トイレを洋式化するなどの設備面のバリアフリー化が必要である。
- ・ 期間中の行事が校区内の小学校と重なったため、保護者参観に影響が出た。小・中の日程調整が必要である。
- ・ より多くの方にアンケートに答えていただけるようにする工夫が必要である。
- ・ オープンスクール実施予定日に台風等の災害が重なった場合の対応が課題である。
- ・ インフルエンザ流行の時期に実施することは、感染拡大の要因となるので、実施時期について今後検討する必要がある。
- ・ 「1日中いつでも参観可」ではなく時間を限定したほうが来校者が多いので、実施方法を検討する必要がある。

○平成30年度「兵庫の教育推進月間」期間中の実施状況

【実施校数：期間中(11月1日～11月30日)に1日でも実施した学校数】

	小学校			中学校			特別支援学校			全体			
	学校数	実施校数	実施率	学校数	実施校数	実施率	学校数	実施校数	実施率	学校数	実施校数	実施率	
県立学校				2	0	0%	27	13	48.1%	29	13	44.8%	
阪神	尼崎市	41	23	56.1%	17	4	23.5%	1	1	100%	59	28	47.5%
	西宮市	41	23	56.1%	20	9	45.0%	1	0	0%	62	32	51.6%
	芦屋市	8	2	25.0%	3	0	0%				11	2	18.2%
	伊丹市	17	6	35.3%	8	5	62.5%	1	1	100%	26	12	46.2%
	宝塚市	24	13	54.2%	12	4	33.3%	1	1	100%	37	18	48.6%
	川西市	16	6	37.5%	7	3	42.9%	1	1	100%	24	10	41.7%
	三田市	20	8	40.0%	8	5	62.5%	1	0	0%	29	13	44.8%
	猪名川町	6	4	66.7%	3	1	33.3%				9	5	55.6%
播磨東	明石市	28	14	50.0%	13	12	92.3%	1	0	0%	42	26	61.9%
	加古川市	28	21	75.0%	12	12	100.0%	1	1	100%	41	34	82.9%
	高砂市	10	5	50.0%	6	3	50.0%				16	8	50.0%
	稲美町	5	5	100%	2	1	50%				7	6	85.7%
	播磨町	4	3	75.0%	2	0	0%				6	3	50.0%
加東	西脇市	8	4	50.0%	4	4	100%				12	8	66.7%
	三木市	16	10	62.5%	8	5	62.5%	1	0	0%	25	15	60.0%
	小野市	8	7	88%	4	4	100%	1	1	100%	13	12	92.3%
	加西市	11	4	36.4%	4	4	100.0%	1	1	100%	16	9	56.3%
	加東市	9	5	55.6%	3	3	100%				12	8	66.7%
	多可町	5	3	60.0%	3	3	100.0%				8	6	75.0%
播磨西	姫路市	69	28	40.6%	34	32	94.1%	1	1	100%	104	61	58.7%
	神河町	4	3	75%	1	1	100%				5	4	80%
	市川町	4	3	75.0%	2	2	100%				6	5	83.3%
	福崎町	4	3	75.0%	2	2	100%				6	5	83.3%
光都	相生市	7	6	85.7%	3	3	100.0%				10	9	90.0%
	たつの市	17	13	76.5%	5	3	60.0%				22	16	72.7%
	赤穂市	10	10	100%	5	5	100%				15	15	100%
	宍粟市	12	12	100%	7	7	100%				19	19	100.0%
	太子町	4	2	50.0%	2	1	50%				6	3	50.0%
	上郡町	3	2	66.7%	1	1	100%				4	3	75.0%
	佐用町	6	6	100%	4	4	100%				10	10	100.0%
播磨高原広域事務組合	1	1	100%	1	0	0%				2	1	50.0%	
但馬	豊岡市	29	20	69.0%	9	4	44.4%				38	24	63.2%
	養父市	9	9	100%	4	4	100.0%				13	13	100.0%
	朝来市	9	7	78%	4	3	75%				13	10	77%
	香美町	10	6	60.0%	4	4	100%				14	10	71.4%
	新温泉町	6	6	100.0%	2	1	50%				8	7	87.5%
丹波	篠山市	14	13	92.9%	5	5	100.0%	1	1	100%	20	19	95.0%
	丹波市	22	22	100.0%	7	7	100.0%				29	29	100.0%
淡路	洲本市	13	11	84.6%	5	4	80%				18	15	83.3%
	南あわじ市	15	7	46.7%	5	5	100%				20	12	60.0%
	淡路市	12	10	83.3%	5	4	80%				17	14	82.4%
	南あわじ市・洲本市小中学校組合	1	0	0%	1	1	100%				2	1	50.0%
全体	586	366	62.5%	259	185	71.4%	40	22	55.0%	885	573	64.7%	

# ○ 5年間(平成26～30年度)の年次推移

※平成26年度は、各学校の実施終了時点での数値

調査基準日 (25年度) 平成25年 12月 31日  
 (26年度) 平成27年 3月 31日  
 (27年度) 平成28年 3月 1日  
 (28年度) 平成29年 3月 1日  
 (29年度) 平成30年 3月 1日  
 (30年度) 平成31年 3月 1日

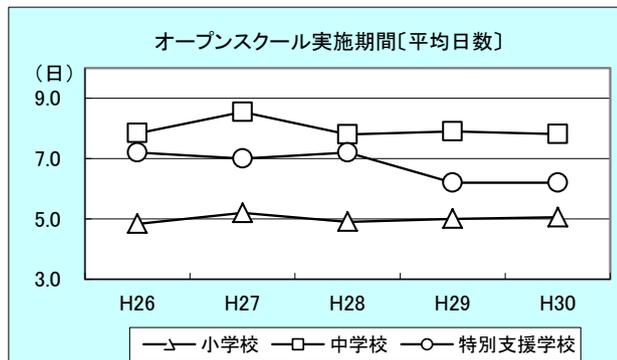
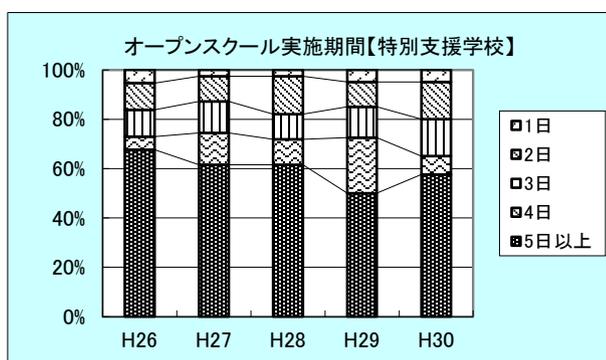
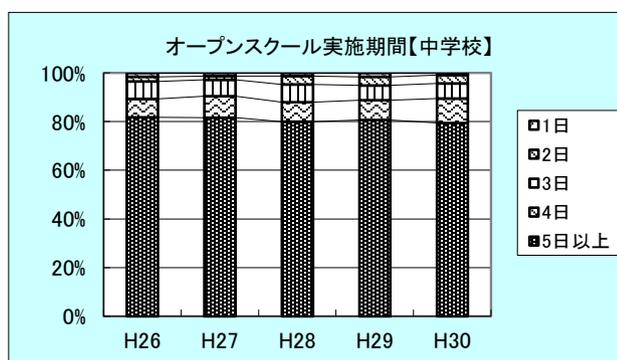
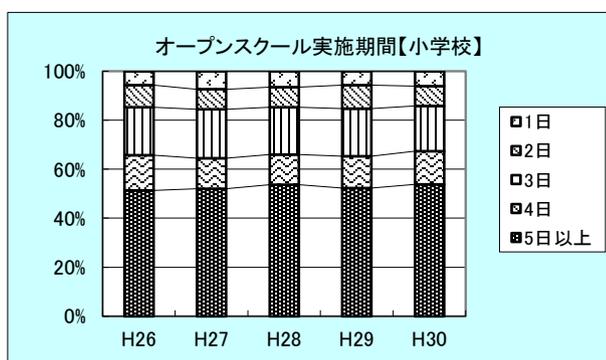
## 1 実施校数〔校種別〕

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	学校数	実施率								
小学校	607	100%	601	100%	593	100%	588	100%	586	100%
中学校	265	100%	263	100%	260	100%	260	100%	259	100%
特別支援学校	37	100%	39	100%	39	100%	40	100%	40	100%
全体	909	100%	903	100%	892	100%	888	100%	885	100%

(小学校には姫路市立白鷺小中学校、中学校には県立大学附属中学校、県立芦屋国際中等教育学校を計)

## 2 実施日数〔校種別〕

年度	校種	平均日数	5日以上		4日		3日		2日		1日	
			学校数	(%)	学校数	(%)	学校数	(%)	学校数	(%)	学校数	(%)
30年度	小学校	5.1	316	(54%)	79	(13%)	108	(18%)	48	(8%)	35	(6%)
	中学校	7.8	206	(80%)	26	(10%)	16	(6%)	9	(3%)	2	(1%)
	特別支援学校	6.2	23	(58%)	3	(8%)	6	(15%)	6	(15%)	2	(5%)
29年度	小学校	5.0	308	(52%)	76	(13%)	115	(20%)	56	(10%)	33	(6%)
	中学校	7.9	210	(81%)	21	(8%)	16	(6%)	9	(3%)	4	(2%)
	特別支援学校	6.2	20	(50%)	9	(23%)	5	(13%)	4	(10%)	2	(5%)
28年度	小学校	4.9	319	(54%)	73	(13%)	114	(19%)	49	(8%)	38	(6%)
	中学校	7.8	208	(80%)	21	(8%)	19	(7%)	9	(3%)	3	(1%)
	特別支援学校	7.2	24	(62%)	4	(10%)	4	(10%)	6	(15%)	1	(3%)
27年度	小学校	5.2	313	(52%)	75	(13%)	120	(20%)	49	(8%)	44	(7%)
	中学校	8.5	215	(82%)	23	(9%)	18	(7%)	4	(2%)	3	(1%)
	特別支援学校	7.0	24	(62%)	5	(13%)	5	(13%)	4	(10%)	1	(3%)
26年度	小学校	4.8	312	(51%)	87	(14%)	119	(19%)	55	(9%)	34	(6%)
	中学校	7.8	217	(82%)	20	(8%)	19	(7%)	5	(2%)	4	(2%)
	特別支援学校	7.2	25	(65%)	2	(5%)	4	(11%)	4	(14%)	2	(5%)

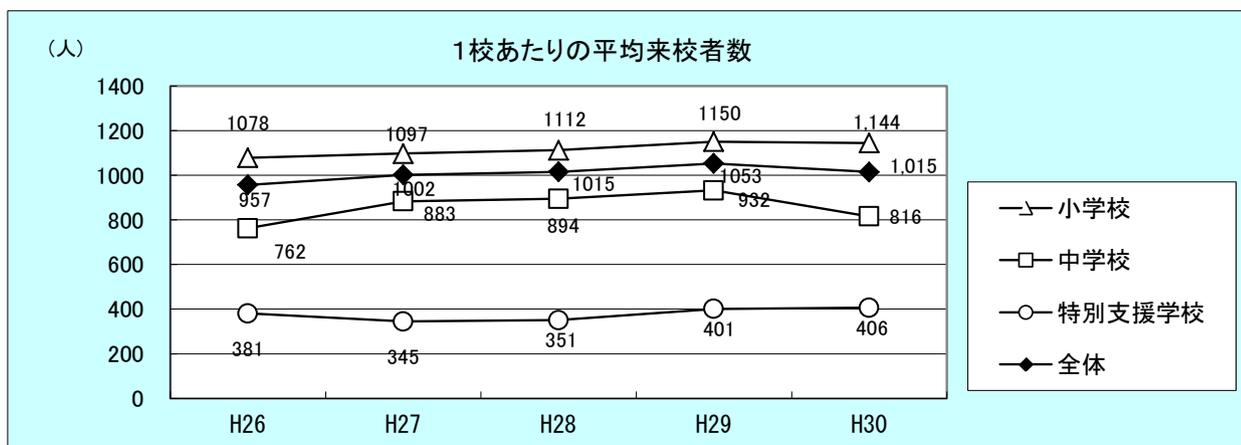
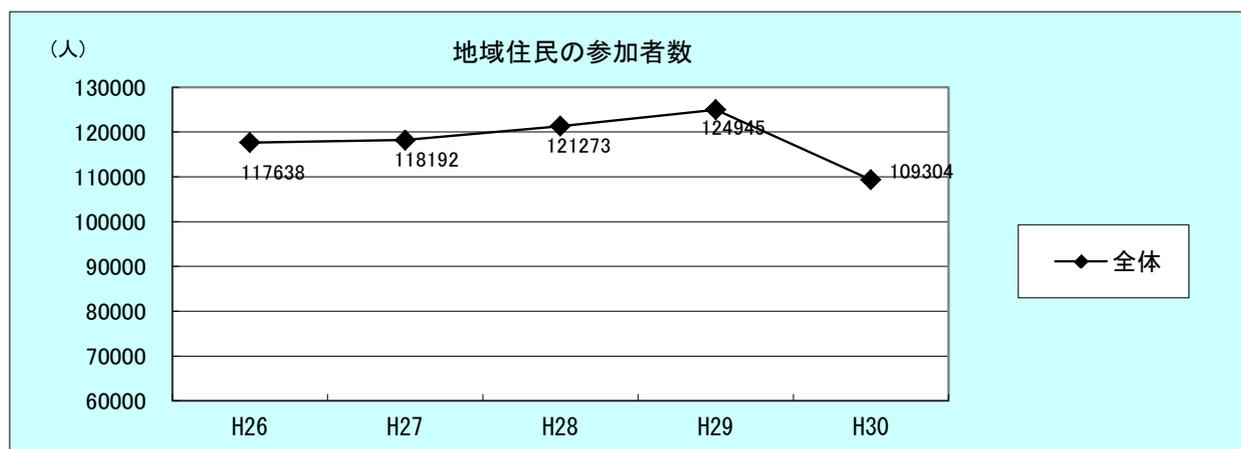
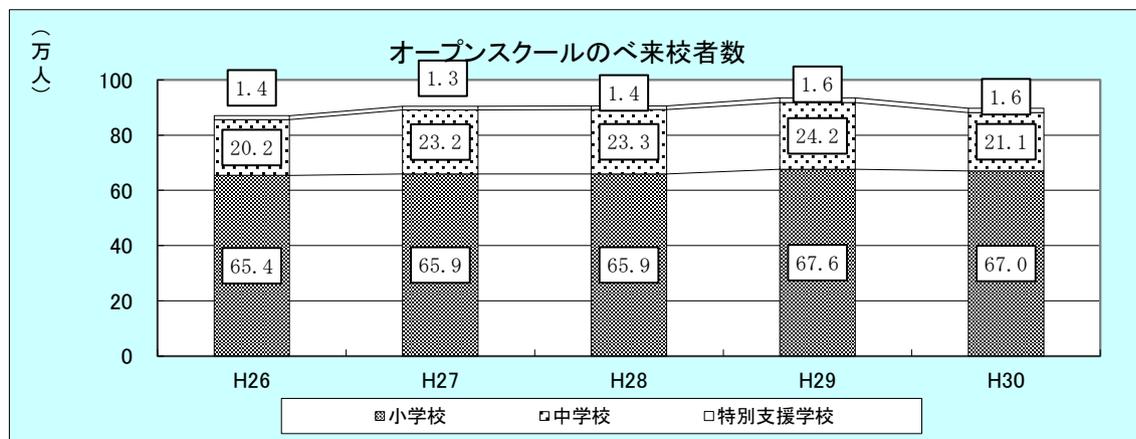


### 3 期間中の来校者数〔校種別〕

(人)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	のべ来校者数	654,148	659,048	659,494	676,174	670,444
中学校	のべ来校者数	202,033	232,106	232,557	242,430	211,265
特別支援学校	のべ来校者数	14,082	13,474	13,696	16,053	16,241
全体	のべ来校者数	870,263	904,628	905,747	934,657	897,950
前年度増減	のべ来校者数	▲39,444	34,365	1,119	28,910	▲36,707

※平成25年度以降の「のべ来校者数」は「のべ保護者数」と「のべ地域住民数」を合算



## 5 円滑な実施に向けての各学校の工夫

【複数回答】

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
保護者や地域の人たちに受付や校内の巡回等の協力を得た		75%	72%	73%	72%	70%
緊急事態に対応するため、あらかじめ関係機関と連携を図った		53%	50%	49%	48%	50%
実施期間や実施日時(休日実施など)を工夫した		95%	95%	94%	94%	96%
アンケートや話し合いなど来校者からの意見を伺う工夫をした		97%	96%	96%	96%	95%
実施内容	児童生徒が主に活動している授業を参観してもらうなど、授業内容を工夫した	95%	97%	96%	96%	96%
	児童生徒が主に活動している学校行事に合わせて実施した	85%	83%	82%	82%	83%
	保護者または地域の人に参加する行事にあわせて実施した	82%	83%	84%	84%	87%

## 6 オープンスクール実施の成果

【複数回答】

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
保護者や地域の人たちの学校への関心や理解が深まった		100%	100%	100%	100%	99%
学校の取組に保護者や地域の人たちから(意見を伺う機会が増えたり)、協力がより得られるようになった		98%	98%	98%	98%	97%
保護者や地域の人たちからの評価により、教職員の意欲の向上につながった		98%	98%	98%	98%	96%
多くの地域や保護者の人たちに見守られることで児童生徒の活動の励みになった		99%	99%	99%	99%	99%

